



▲ネタを披露する楽しんご (左) とサンモジ (右)

週末よしもとほっこりお笑いライブ
4月16日(土)、市民会館で『週末よしもとほっこりお笑いライブ』(文化・スポーツ振興財団主催)が行われ、あべこうじやNON STYLEの2人、楽しんごなどのテレビでよく目にする芸人や、登別市出身の垂弓さんが所属する札幌市で活躍中のトリオ『サンモジ』などがコントや漫才を披露し、満員の会場を笑いの渦に巻き込みました。
また、登別ブランド推奨品や出演者のメッセジカードなどが当たる抽選会も行われ、当選者はうれしさに声を上げて、賞品を受け取りにステージに駆け上がっていました。

**豪華な顔ぶれが
巻き起こす笑いの渦**

4/16

**皆さんの声を
行政に届けます**

4/15

一日行政相談

4月15日(金)、登別郵便局で行政相談委員による『一日行政相談』が行われました。

この行政相談は、国や特殊法人(公園・事業団・銀行・公庫)、北海道、市の業務に関する苦情や意見、要望を受け付け、中立の立場から関係行政機関などに必要なあつせんを行い、その解決の促進、行政の制度・運営の改善を図るため、偶数月に行われています。
行政相談委員への相談は無料で、秘密は固く守られます。市内は、前川博さん(☎011-2360)と垣内登紀子さん(☎011-7245)の2人が総務大臣から委嘱されています。



▲行政相談委員の前川博さん(中央)と垣内登紀子さん(左)

**滞在型観光地への
新たなスタート**

4/13

北海道登別洞爺広域観光圏認定書交付式

4月13日(水)、北海道運輸局で『北海道登別洞爺広域観光圏認定書交付式』が行われ、道内で6番目の観光圏が誕生しました。

観光圏は、観光地が互いに連携し、国内外からの誘客や2泊以上の滞在型観光を促進することを目的に、観光庁が認定するものです。『北海道登別洞爺広域観光圏』は、平成21年12月に白老町以西の胆振7市町と観光協会などによる協議会を設立。一度認定が見送られました。計画を見直し、昨年10月に再提出していました。

観光圏の認定により、旅行業の免許を持たない宿泊業者による圏内限定の旅行商品の代理販売が可能になるなど、法律上の特例が認められ、滞在型観光地づくりに弾みがつくこととなります。



▲交付式に臨む小笠原市長(右)と栗林登別観光協会会長(右から2番目)